

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0283
施設名	由木保育園
施設所在地	八王子市下柚木15-1
法人名	社会福祉法人 花窓堂

1. 活動のテーマ

<テーマ>

風の探求

「風とは何だろう？」

「どうやって見つけるのかな？」

<テーマの設定理由> 自然に親しむ。身近に感じる風の心地良さや不思議さを楽しむため

・風が存在を知っているかな？の問いかけに皆どんどん答えていきます。ではその風とは、どんなものだろう。見えるかな？香りはあるのかな？何処で会えるのかな？見つける方法はあるのかな？との問いに順番に向き合い、探し、楽しんでいった。

2. 活動スケジュール

4月…風車作り・風車遊び

10月…①風って何だろう？②風発見器作り③風探し④風と木

11月…①風アート②紙バルーンと風遊び

1月…①風船遊び②秘密基地作り③風車を持って園外散歩

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

子ども達の言葉を拾いながら、不思議に向き合い、ではどうしようか？

と考えながら深めていった。

小型扇風機・風車・風発見器の廃材・風の強い日の次の日に散歩先で拾った自然物

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

風車を用いて、風を感じることを十分楽しんだ。

そこから風について皆で考え、子どもの考え・提案を実際に行動に移す。目を閉じて耳を澄まし、肌で、全身で感じる風をたのしんでいった。風には力がある事、防風林というものがあることを知り、部屋にも風が来てくれるといいと、木作りをしたり、風の強い日の次の日の散歩では、葉や実、枝等沢山の自然物が落ちていた。風からのプレゼントとして、秘密基地作りや砂ケーキなどの遊びも楽しんだ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

「気持ちのいい風はどこで吹くんだろう」「向こうで見つけたよ!!」「一緒に行こう」と子ども同士で風探しを楽しんでいた。また、綺麗な葉や実をみつけると、「風が持ってきてくれたのかな」と身近な変化を風と関連付ける姿があった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

風との出会いを楽しみながら、風が吹いたらどうなるんだろう、場所で違うのかな？等様々な疑問を意識しながら、全身で感じる風や頬にあたる柔らかい風、給食の部屋の換気扇から薫る風等、すべての風との出会いを楽しんだ。探究の中で「風は吹くだけではなく、物を運ぶ力のあるものである。」という事にも気が付いた。